

Life のそばで生きていく

Life それは命、Life それは生活、Life それは人生

高知県立大学看護学部は、1952 年に高知女子大学家政学部看護学科として我が国で初めて 4 年制大学で看護学教育をスタートして 70 年、実践—教育—研究の連環の中で「看護学とは何か」を探究し、将来に拓かれた看護学の構築にチャレンジし続けています。大学院は、1998 年に看護学研究科（修士課程）としてスタートし、2014 年に看護学専攻博士前期課程・博士後期課程、博士課程をもつ研究科へと発展し、激動する社会の中で看護のイノベーションにチャレンジしています。

本年報は、看護学部、看護学研究科の教育活動・研究活動・社会連携活動を中心にまとめたものです。看護学部は、高知女子大学の“看護学を探究する教育”“看護実践を大切にする教育”“学生の個性を伸ばす教育”を大切に、次代の看護専門職者の教育に力を注いでいます。

2023 年度は新型コロナウイルス感染症が 5 類に変更になり、感染予防対策は緩和されました。教育、研究、社会連携、国際交流などの活動は、コロナ禍前の状況を基に、コロナ禍で培った ICT の技術を駆使して学生と教職員、地域の方々と協働して新たな内容・方法に取り組みました。臨地実習は、感染予防対策を継続して行うことで実践の場を通して目的を達成することができました。ご協力ご支援をいただいたすべての方々に感謝申し上げます。

新カリキュラム 2 年目となり、学修者本位の教育・授業の実現を目指して、教員は自己点検・評価して教育の質の保証、教育方法の工夫に取り組んでいます。2 回生の臨床実習は実習施設のご協力を得て新たな取り組みを開始しました。また前年度に体制を整備したシミュレーション演習や上級生による看護技術学習サポーターの試みなどを行い、学生の能動的学習を支援しました。学生調査の結果に基づき、4 学年間の交流についてのニーズへの対応や低学年からのキャリア支援にも務めました。学生は行動制限が緩和され、大学での学びや立志社中などの課外活動、ボランティア活動に創意工夫して果敢に取り組んだり、海外の長期・短期研修や留学にチャレンジしたりと将来の可能性や視野を広げました。大学院では、国際的に活躍している卒業生や修了生を講師とする企画を強化し、さらなる国際化へと努力しました。

教育研究活動の充実に向けて FD 活動を強化し、教員が主体的に教育力を高めることに努力しました。また、研究環境促進委員会を中心とした活動により、競争的外部資金に応募し資金を獲得し、他大学の教員や実践家、大学院修了生と共同研究に取り組み、その成果の発信や、学内の戦略的研究推進プロジェクト研究に継続的に取り組んでいます。

社会連携活動では、高知医療センターとの包括的連携事業や健康長寿センターの活動に積極的に参画し、一般市民を対象とした「高知市民の大学」や高知県内の市町村との協働事業等、健康文化の創造を目指す活動や、専門職者を対象とした活動を実施しました。また、高知県や高知市と協働した事業、高知県看護協会との連携事業など、専門職者の方々と共に看護の質の向上に取り組んでいます。

令和 6 年度は、伝統を継承しつつ、少子化・高校生人口の激減する時代を生き抜く戦略をたて、さらに充実・発展してけるよう努力していきたいと考えています。